

## 論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)乙第 18 号	氏名	木原 敏晴
学位審査委員	主査	酒井 英樹	
	副査	大園 恵幸	
	副査	上谷 雅孝	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、血液透析患者における血清マクロファージコロニー刺激因子 (MCSF) 値と動脈硬化進行の関連を明らかにするために行われた研究であり、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 血液透析患者を対象として血清 MCSF を RIA 法で測定し、大動脈石灰化係数 (ACI) を年に 1 回の腹部単純 CT 画像から算出した、6 年間の縦断的研究である。得られたデータから、血清 MCSF 値と ACI の関連および ACI 上昇の予測因子を統計学的に解析したもので、研究手法として妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 血清 MCSF 値と ACI が正に相関することを示すとともに、多変量解析を用いて CRP 高値と MCSF 高値が独立した ACI 上昇の予測因子であることを明らかにした。本研究の結果から、MCSF が動脈硬化の進行に重要な役割を果たす可能性が示唆され、動脈硬化予防研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は泌尿器科学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士 (医学) の学位に値するものと判断した。</p>			